

市長の窓

しげ のぶ
滋宣の



ほう ちゅう かん

あん ちゅう めい

“忙中閑あり暗中明あり”

その 39

～ 木の葉髪 ～

季節の変わり目は身体にも変調があるもので、抜け毛が目立ちます。ことに晩秋から初冬にかけて、木の葉がはらはらと散るのになぞえられ、抜け毛のことを「木の葉髪」というそうです。

私も還暦を迎え、昔から髪の毛は濃い方ではなかったのですが、最近では地肌が透けて見えるようになり、抜け毛も多くなったような気がします。

髪を梳いて落ちる髪の毛を見ると、「木の葉髪」といういい方に思わずうなずいてしまいます。

かつては豊かな黒髪は女性の命とまでいわれ、髪はことのほか大切にされてきましたから、時期的なものとはいえ「木の葉髪」には冬の季節感と相まってわびしさが感じられますが、毎日鏡を見ている私は、四季を通じてため息をつき、わびしさと寂しさに耐えています。

梳きこぼす うしろは知らず 木の葉髪
(皆吉爽雨)

能代市長 齊藤滋宣



11月22日、鳥小屋の道路維持センターで能代市除雪車出動式を行いました。